

会 議 録

会議名	平成 26 年度 第 1 回文化会館運営委員会
開催日時	平成 26 年 10 月 29 日 (水) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	山陽小野田市文化会館 研修室
出席委員 (7 名)	富田会長、倉田副会長、瀬口委員、峰永委員、 神徳委員、内藤委員、河村委員
欠席委員 (1 名)	猪俣委員
傍聴者	なし
担当課及び 出席者	担当課：文化会館 大田館長、舩林副館長、村田、林、貞弘
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 文化会館館長あいさつ 3. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化振興関連業務について (2) 文化会館利用状況及び貸館業務について (3) 文化会館維持管理について ・ 議題 <ul style="list-style-type: none"> 文化会館の休館日の変更について 4. その他
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 文化会館館長あいさつ 3. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化振興関連業務について 事務局－【配布資料 P2】の説明 主催事業・共催事業 (2) 文化会館利用状況及び貸館業務について 事務局－【配布資料 P3】の説明 平成 25 年度 文化会館利用実績 委員－平成 24 年度よりも使用料がたくさん増えている要因は何か。また、使用料について目標は定めているのか。 事務局－使用料が増えたことについては、大ホールの利用率が若干増えていることも考えられるが、共催・後援等による減免使用もあつたり、申請して使用料を支払う年度とイベントが開催される年度が異なることもあるため、利用

率と使用料の因果関係は正確に特定できない。また、目標に関しては、使用料については定めていないが、可能な限り多くの客に来てもらい、利用率を上げていくことを目標としている。

委員－会館を維持管理していくにあたって、利用的なバランスも考えて、ある程度使用料の目標を立てることも必要ではないか。主催事業を行うことで多くの人に来場してもらい、文化会館を利用することのメリットを知ってもらうことで、より多く利用してもらえるような運営の仕方も必要ではないか。

委員－平成 25 年度の利用実績だけでなく、平成 26 年度の利用実績の中間報告もあってはいいのではないか。

事務局－利用実績については、貸館終了後に利用人数を報告してもらい、それをデータとして記録しているが、月締め報告はしておらず、すぐに中間報告はできない。

事務局－今後は、月締め報告も含め、利用件数と使用料の増減の関係を分析していくため、全額減免、半額減免、減免なしでそれぞれの件数を集計するようにしていきたい。

委員－年度によっては、件数が少ないのに利用人数が多いこともある。どういうイベントがあったら多くの利用者があるということをわかるようにしてもらえるといい。

(3) 文化会館維持管理について

事務局－【配布資料 P8】の説明

平成 25 年度及び平成 26 年度における会館の修繕・改修・工事・備品の更新

事務局－開館して 20 年が経過し、音響・照明設備も厳しい状況である。実施計画にきちんとあげて企画・財政と協議し、会館の運営に支障をきたすことがないように努めたい。

・議題

「文化会館の休館日の変更について」

事務局－【配布資料 P9～12】の説明

休館日の変更について提案・検討

・現在の休館日：毎月第 1・第 3 火曜日

及び 12 月 29 日から 1 月 3 日

・変更案：毎週火曜日（火曜日が祝日にあたるときは翌日）

及び 12 月 29 日から 1 月 3 日

- ・職員体制
- ・メリット及びデメリット
- ・本庁職員と文化会館職員の休みの比較（平成 25 年度）
- ・県内他市ホールの状況
- ・曜日別の利用率（平成 25 年度）

委員－火曜日を特定して利用する利用者はいないのか。

事務局－いない。

委員－開館日数が年間 28 日減少することで、文化会館の職員数が減らされてしまうということが考えられないか。その心配がなければ変更していいと思う。

事務局－開館日数の減少により職員数を減らすようなことはしないと考えている。

議長（会長）－では、特に異存がないようなので、提案のような形で引き続き進めて検討し、会館の運営がきちんとしてくれるようによろしくお願いします。

4. その他

事務局－「ネーミングライツ」について

施設の呼び方を募集し、その広告料収入を得るものであるが、市内の企業等からその会社名等を広く宣伝するにあたって、市に対してネーミングライツを含め企業名等を広めたいという相談がある。そこで、この文化会館をネーミングライツの対象施設とするということについて、委員の皆さんの意見を聞かせてほしい。ネーミングライツによって生じた収入については文化会館の維持管理費に充てるという約束を財政側にしてもらおうとは思っている。

委員－企業名等が文化会館の呼称になるのは、文化とは程遠いイメージがある。

委員－ネーミングライツには反対である。企業名を付けて収入を得ることよりも、山陽小野田市は文化的なもの、文化的イメージを重要視してほしい。

事務局－それでは、以上で第 1 回目の運営委員会を終わります。ありがとうございました。